

最近出版された ぜんあすめの本

「私」という謎
自我体験の心理学

編者／渡辺恒夫・高石恭子

「どうして私は私なのか」「なぜ自分は他の人間ではなく自分に生まれたのか」。ほとんどの人が、子ども時代や思春期にこんな疑問にとらわれ、不思議な気持ちになる。この「自我体験」は主観的な経験なので哲学の問題として扱われがちだった。

しかし、この「私」という謎は心理学にとつても切実な問題ではないだろうか……。そう考える心理学者が集つて、体験報告、臨床例、架空インターネット掲示板、質問紙調査などの様々な角度から、この謎をどこまで解明できるかに挑戦した、刺激的で画期的な一冊だ。

著者 渡辺恒夫・高石恭子



新曜社 2,625円